

田辺駅(地下鉄谷町線)

田辺大根のふるさと・田辺を歩く

南田辺駅(JR阪和線)

「大阪あそ歩マップ集」
その1 No.043

地下鉄田辺駅

田辺は、飛鳥時代に渡来した田辺氏の支配地で、なにわの南に位置して住吉大社や大和に通じる要衝の地でした。江戸時代は都市郊外の農村として大いに栄えました。

① 模擬原爆投下跡の碑

終戦直前、アメリカは日本に原爆を投下する訓練を、長崎原爆と同じ型で同じ重さの通常火薬をこめた爆弾を使用して、日本各地50カ所で行いました。戦後、長く機密にされていましたが、平成3年(1991)に解除された米軍資料から明らかになりました。昭和20年(1945)7月26日に田辺に模擬原爆が落とされ、7名が死亡しています。



② 下高野街道

平安時代に京都から高野山や熊野へ詣でる人が増え、熊野街道のほかに和歌山に通じる東・西・中・下の各高野街道が発達しました。下高野街道は天王寺から田辺を通って堺の北野田に至る道で、狭山街道とも呼ばれていました。

③ うどんや風一夜葉本舗

明治9年(1876)に発売された風邪薬で、うどんを食べてこの薬を飲んで寝ると治るといわれました。戦前までどのうどん屋さんでも置いていたそうです。

④ 神馬塚

住吉大社の神馬は、代々田辺で飼育されていました。神功皇后の白馬が逃げ、田辺で草を食んでいたところを発見されたという故事がはじまりとされています。戦前まで、朝夕、神馬は田辺と大社を往復していたようです。神馬塚は神馬のお墓です。

⑤ 難波大道跡

『日本書紀』にも書かれている古代の官道が難波大道なにわみちで、難波宮から南へ、堺市の方へ延びています。法楽寺の西側に走っている道です。

⑥ 法楽寺

平安時代末期に平重盛によって創建されたと伝わっています。「田辺のお不動さん」としても親しまれ、樹齢800年の大楠があります。毎年12月28日の終い不動

の日には田辺大根が炊かれて参詣者に配られます。

⑦ 田辺大根の碑

江戸時代の田辺は綿の栽培が盛んで、綿のあいだに大根が植えられていました。その味がうまいと、田辺大根として評判になりました。明治以降、都市化で畑が消滅して幻の野菜といわれましたが、近年、保存されていた種子が発見され、地域住民の手で大阪の伝統野菜として蘇りました。法楽寺境内に田辺大根碑が建てられています。



JR南田辺駅

